



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月13日

東

上場会社名 株式会社アイスコ

上場取引所

コード番号 7698

URL <https://www.iceco.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 相原 貴久

問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO

（氏名） 永野 泰敬

（TEL）045(811)1302

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	15,584	8.6	142	△44.3	142	△46.8	94	△45.6
2026年3月期第1四半期	14,344	5.1	255	5.9	268	2.9	173	2.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	24.08	23.30
2026年3月期第1四半期	44.54	42.92

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	22,752	4,204	18.5
2026年3月期	20,962	4,148	19.8

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 4,203百万円 2026年3月期 4,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	11.00	—	10.00	21.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	62,500	9.3	724	△7.5	737	△6.8	488	30.8	124.16

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	3,932,300株	2026年3月期	3,930,500株
2027年3月期1Q	96株	2026年3月期	96株
2027年3月期1Q	3,931,165株	2026年3月期1Q	3,905,804株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の将来に関する記述は、業績に与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因等で大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移し、設備投資にも持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇の継続に加え、不安定な国際情勢を背景としたエネルギー供給不安や金融市場の変動などの影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社が属する食品流通業およびスーパーマーケット業界においては、物流コストや原材料価格の高止まりが続き、食品価格は引き続き高水準で推移しております。こうした中、消費者の節約志向は根強く、価格に対する選別の目は一層厳しさを増しております。

このような経営環境のもと、当社は「ICECO VISION 2030」の達成に向けて、第二次中期経営計画に基づき、物流体制の強化をはじめ、人財への投資や新規事業への取り組みを通じて、将来に向けた成長基盤の構築を進めております。

この結果、当第1四半期累計期間は主要得意先との取引が堅調に推移したことにより、売上高15,584百万円(前年同四半期比8.6%増)となりました。一方、利益面では、天候不順によりアイスクリーム類の販売が伸び悩んだことに加え、人件費や物流費の増加により、営業利益142百万円(前年同四半期比44.3%減)、経常利益142百万円(前年同四半期比46.8%減)、四半期純利益94百万円(前年同四半期比45.6%減)となりました。

各セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

a. フローゼン事業

フローゼン事業では、主要取引先であるドラッグストアの新規出店等の影響により、売上高は堅調に推移いたしました。一方、利益面では、6月の天候不順によるアイスクリーム類の販売減少に加え、人件費や物流費の増加等により、前年同期を大きく下回る結果となりました。

以上の結果、フローゼン事業の売上高は13,819百万円(前年同期比10.0%増)、セグメント利益は118百万円(前年同期比49.4%減)となりました。

b. スーパーマーケット事業

スーパーマーケット事業におきましては、低価格商品へのニーズに対応しつつ、当社の強みである商品の鮮度・品質・品揃えに徹底してこだわった販売を行い、販売力の強化に努めてまいりました。また、管理コストの削減を進めた結果、売上高は前年同期をやや下回ったものの、セグメント利益は増加いたしました。

以上の結果、スーパーマーケット事業の売上高は1,765百万円(前年同期比1.1%減)、セグメント利益は23百万円(前年同期比12.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて、1,790百万円増加し、22,752百万円となりました。これは主に、フローゼン事業の売上の増加に伴い受取手形及び売掛金が1,193百万円増加したこと、また関東マザー物流センターの建設に伴い建設仮勘定が244百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて、1,734百万円増加し、18,548百万円となりました。これは主に、フローゼン事業の仕入の増加に伴い支払手形及び買掛金が1,371百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて、56百万円増加し、4,204百万円となりました。

た。これは主に、利益剰余金が55百万円増加したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績は、計画どおりに推移しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,764,518	1,808,341
受取手形及び売掛金	5,785,453	6,978,940
商品	861,318	935,837
未収入金	2,282,749	2,382,440
その他	36,454	52,876
貸倒引当金	△525	△633
流動資産合計	10,729,970	12,157,804
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,039,749	2,012,163
機械及び装置(純額)	296,216	285,950
車両運搬具(純額)	121,504	290,262
工具、器具及び備品(純額)	95,674	88,490
土地	3,776,109	3,776,109
建設仮勘定	2,292,776	2,537,276
その他(純額)	112,528	109,931
有形固定資産合計	8,734,559	9,100,184
無形固定資産		
ソフトウェア	54,976	55,292
その他	7,022	7,011
無形固定資産合計	61,999	62,304
投資その他の資産		
投資有価証券	19,475	19,539
繰延税金資産	683,886	683,866
保険積立金	16,709	16,927
差入保証金	687,341	687,352
その他	29,221	25,809
貸倒引当金	△907	△907
投資その他の資産合計	1,435,726	1,432,588
固定資産合計	10,232,285	10,595,077
資産合計	20,962,255	22,752,882

(単位:千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,516,483	9,887,716
短期借入金	1,491,000	1,020,000
1年内返済予定の長期借入金	365,936	352,925
未払金	313,879	703,460
未払費用	761,340	961,296
未払法人税等	186,387	59,690
未払消費税等	30,285	93,876
賞与引当金	176,297	299,566
その他	482,912	754,728
流動負債合計	12,324,521	14,133,261
固定負債		
長期借入金	3,296,227	3,216,199
長期未払金	155,100	155,100
退職給付引当金	872,081	877,489
資産除去債務	124,079	124,280
その他	41,867	41,867
固定負債合計	4,489,355	4,414,936
負債合計	16,813,877	18,548,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	383,870	384,320
資本剰余金	308,870	309,320
利益剰余金	3,455,146	3,510,517
自己株式	△117	△117
株主資本合計	4,147,769	4,204,040
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△362	△317
評価・換算差額等合計	△362	△317
新株予約権	971	961
純資産合計	4,148,377	4,204,683
負債純資産合計	20,962,255	22,752,882

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	14,344,025	15,584,394
売上原価	11,871,570	12,912,138
売上総利益	2,472,455	2,672,255
販売費及び一般管理費	2,216,824	2,529,766
営業利益	255,631	142,488
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,690	2,701
不動産賃貸料	12,715	14,340
雑収入	10,266	9,337
営業外収益合計	25,671	26,379
営業外費用		
支払利息	7,981	15,621
不動産賃貸費用	3,680	3,670
その他	1,225	6,761
営業外費用合計	12,887	26,053
経常利益	268,415	142,814
税引前四半期純利益	268,415	142,814
法人税等	94,433	48,139
四半期純利益	173,981	94,674

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項ありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	フローゼン事業	スーパー マーケット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,559,994	1,784,030	14,344,025	—	14,344,025
セグメント間の内部 売上高又は振替高	70,905	—	70,905	△70,905	—
計	12,630,899	1,784,030	14,414,930	△70,905	14,344,025
セグメント利益(注) 2	234,440	21,190	255,631	—	255,631

- (注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△70,905千円は、セグメント間取引消去等であります。
 2. セグメント利益には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。
 3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第1四半期累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	フローゼン事業	スーパー マーケット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,819,207	1,765,187	15,584,394	—	15,584,394
セグメント間の内部 売上高又は振替高	73,231	—	73,231	△73,231	—
計	13,892,438	1,765,187	15,657,626	△73,231	15,584,394
セグメント利益(注) 2	118,703	23,785	142,488	—	142,488

- (注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△73,231千円は、セグメント間取引消去等であります。
 2. セグメント利益には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。
 3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	89,929千円	101,391千円